

# 環境報告書

## Environmental Report

### 2017

対象期間；2016年4月～2017年3月



西川ゴム工業株式会社  
NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.

# 目次

	( ページ )
・ 会 社 概 要	1
・ 環 境 マ ネ ジ メ ン ト	1
・ 環 境 保 護 へ の 取 組 み	2
・ 環 境 に 配 慮 し た 設 計 活 動 の 紹 介	2
・ 廃 棄 物 に 関 す る 取 組 み	3
・ CO <sub>2</sub> 排 出 量 削 減 の 取 組 み	4
・ 主 要 海 外 グ ル ー プ 会 社 環 境 実 績	5
・ 環 境 負 荷 物 質 の 排 出 状 況 と 水 使 用 量	6
・ 2016年 度 の 環 境 パ フ ォ ー マ ン ス ま と め	7
・ 環 境 コ ン プ ラ イ ア ン ス	8
・ 地 域 貢 献 活 動 , 環 境 保 護 活 動 , コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	
( 国 内 生 産 拠 点 )	9 ~ 10
( 国 内 関 係 会 社 )	11
( 海 外 関 係 会 社 )	12 ~ 13

# 会社概要 (2017年3月31日 時点)

## 【 会 社 概 要 】

社 名 西川ゴム工業株式会社 (NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.)  
 所 在 地 〒733-8510 広島市西区三篠町二丁目2番8号  
 代 表 者 代表取締役 社長 西川 正洋  
 設 立 1949年4月  
 資 本 金 3,364百万円  
 従 業 員 数 1,356名 ( 連 結 : 6,435名 )

## 【 事 業 内 容 】

自動車用部品 ゴム・樹脂シール製品, 内外装製品, 等  
 一般産業資材 住宅関連製品, 土木関連製品, 等

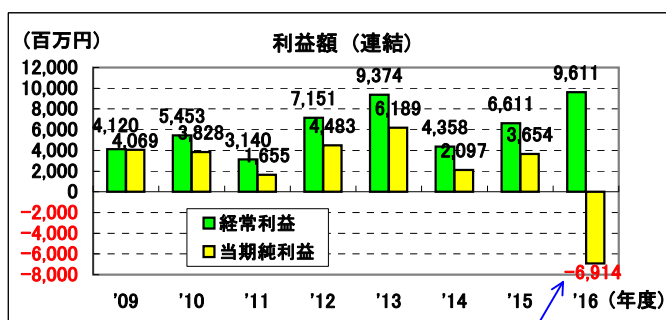
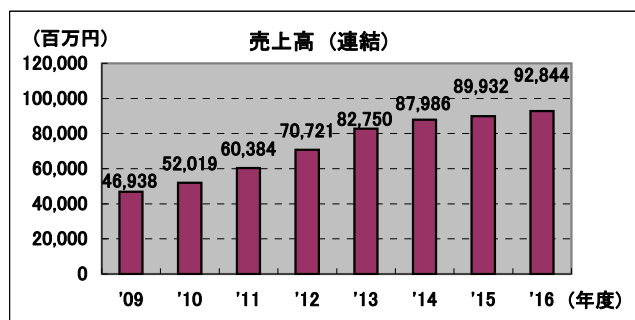
## 【 国 内 拠 点 】

工 場 白木工場, 吉田工場, 安佐工場, 三原工場  
 営 業 所 横浜営業所, 宇都宮営業所, 浜松営業所, 名古屋営業所, 大阪営業所, 広島営業所, 山口出張所  
 国内関係会社 西川物産(株), (株)西川ビッグオーシャン, (株)西川ゴム山口, (株)西和物流, 西川デザインテクノ(株)

## 【 海 外 拠 点 】

ア メ リ カ NISHIKAWA COOPER LLC / Nishikawa of America, Inc.  
 タ イ Nishikawa Tachaplalert Cooper Ltd.  
 中 国 上海西川密封件有限公司 / 広州西川密封件有限公司 / 西川橡胶(上海)有限公司  
 メ キ シ コ NISHIKAWA SEALING SYSTEMS MEXICO S.A. de C.V.  
 イ ン ドネ シ ア PT. NISHIKAWA KARYA INDONESIA  
 イ ン ド ALP NISHIKAWA CO., PVT. LTD.  
 イ ギ リ ス Nishikawa Rubber Co., Ltd. Europe Branch

## 【 連 結 業 績 の 推 移 】



※ 2016年度は、独占禁止法関連損失を特別損失として計上の結果、利益額のマイナスが発生しました。

# 環境マネジメント

## 【 環 境 方 針 】

※ 2016年6月 ISO14001 2015年度版への移行を期に、環境方針の見直しを行いました。

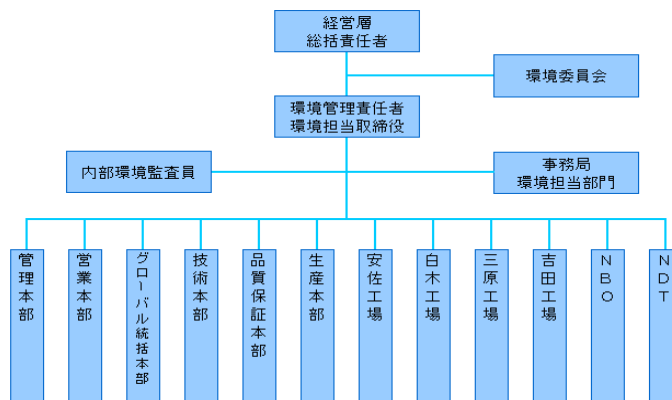
### < 基本理念 >

当社は、環境保護を経営の重要課題として位置づけ、開発・設計・購買・生産・物流・販売・廃棄までの製品のライフサイクル全段階にわたって、社是(正道, 和, 独創, 安全)の精神で「地球にやさしい事業活動」をグループ全体で取り組みます。

### < 行動指針 >

- 法令遵守  
環境関連の関係法規制等、及び当社が合意するその他の要求事項を遵守します。
- 環境に配慮したモノづくり  
省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物の削減、環境負荷物質(有害化学物質)の使用抑制及び汚染の予防に取組み、その継続的改善による環境保護に努めます。
- 社内啓発活動  
全従業員の環境に関する法律遵守及び環境への意識向上を図るため、環境教育を継続的に実施し、全社的な環境保護活動を推進します。

## 【 環 境 管 理 体 制 】



### ● ISO14001 認証取得状況

	取得時期	有効期限	審査機関
西川ゴム工業(株)	2000年12月	2018年9月	DET NORSKE VERITAS

# 環境保護への取組み（西川ゴム単体）

西川ゴム工業の環境側面をふまえて、環境目的・目標を設定し活動しています。

## ● 2016年度目標と結果

No.	取組み項目	2016年度目標	2016年度実績	備考
1	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量 40,200 t	CO <sub>2</sub> 排出量 40,351 t	原単位/CO <sub>2</sub> 排出量とも、計画未達。  来年度以降は、生産現場の省エネ活動が反映されやすい原単位として“投入量原単位”での管理を行います。
2	CO <sub>2</sub> 原単位の削減（排出量 t/売上高）	CO <sub>2</sub> 原単位 0.833	CO <sub>2</sub> 原単位 0.883	
3	製品含有化学物質管理システム構築(REACH規制対応)	化学物質全成分把握調査把握 100%	化学物質全成分把握調査把握 100%	
4	マテリアルリサイクルの推進	軽量化・樹脂化, マテリアルリサイクルの技術開発	軽量化・樹脂化, マテリアルリサイクルの技術開発	

## ● 中期環境目標(2015年度～2017年度)

No.	目標項目	2015年度目標	2016年度目標	2017年度目標
1	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量 39,900 t	CO <sub>2</sub> 排出量 40,200 t	CO <sub>2</sub> 排出量 40,615 t
2	CO <sub>2</sub> 原単位の削減（排出量 t/売上高）	CO <sub>2</sub> 原単位 0.868	CO <sub>2</sub> 原単位 0.833	CO <sub>2</sub> 原単位 0.849
3	製品含有化学物質管理システム構築(REACH規制対応)	化学物質全成分把握調査把握 100%	化学物質全成分把握調査把握 100%	化学物質全成分把握調査把握 100%
4	マテリアルリサイクルの推進	軽量化・樹脂化, マテリアルリサイクルの技術開発	軽量化・樹脂化, マテリアルリサイクルの技術開発	軽量化・樹脂化, マテリアルリサイクルの技術開発

# 環境に配慮した設計活動の紹介

## ● 環境リスク等を有する材料・資材の低減活動

当社グループの主力製品ウェザーストリップは、様々な取付形態や天候・状況の中で常に確実なシール性能を維持する必要性から、多種多様な材料・資材を用いてつくられています。

その中には「特定化学物質」に指定されている資材が含まれる場合や、製造工程で粉塵飛散を防止すべき資材がやむなく使用される場合があります。（前者例:エチルベンゼン, メチルイソブチルケトン等/後者例:酸化ケイ素）

私達は労働安全ならびに環境リスク低減の観点から、これらを削減していく活動を推進しています。

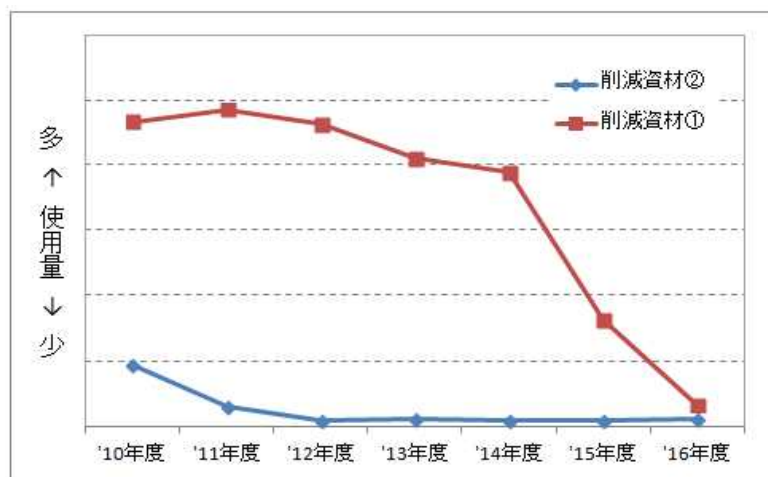
具体的には、該当の資材・材料の特定とその代替置換です。

これまでの活動で、ウェザーストリップ表面に塗布するトップコート剤を溶剤系から水系へ置換する活動を継続的に行っていますが、これも本活動の一環と言えます。

そして、今回のこの取組みは、その狙いの段をさらに上げて低減させるものです。

その結果として、下示グラフのように大きな効果に繋がっています。

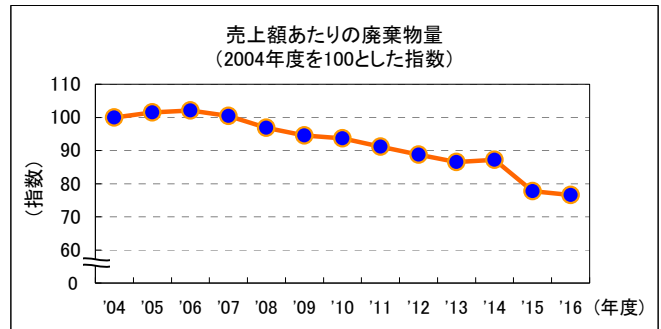
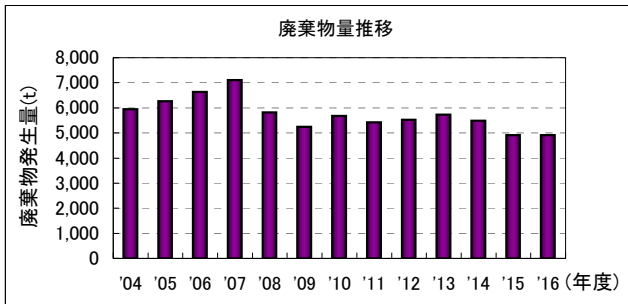
私達は、これら材料・資材のゼロ化を細かく進め、最終的にリスクフリーを達成するよう今後も活動を推進していきます。



# 廃棄物に関する取組み

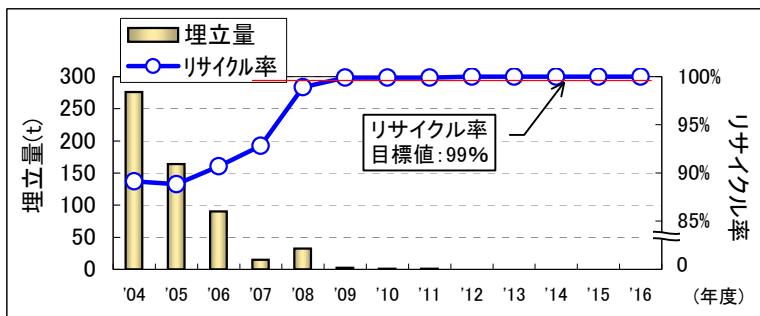
## ● 廃棄物量の削減(西川ゴム単体)

2016年度の廃棄物量はほぼ前年並みの実績となりましたが、売上額あたりの廃棄物量(原単位)は、前年度比1ポイントの減少となりました。  
当社では引き続き、歩留の向上、不良率の低減および全社で使用する木製パレットを耐久性のある樹脂パレットに変更する等、廃棄物発生抑制に継続的に取り組んでいます。



## ● リサイクル率の向上(西川ゴム単体)

埋立量・リサイクル率推移表



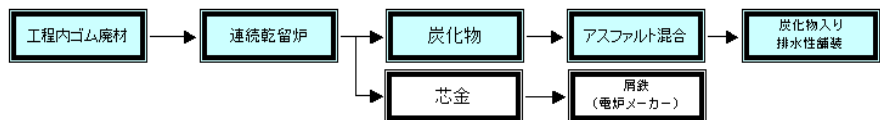
2009年度に、目標としてきたリサイクル率99%を達成し、2012年度以降目標値クリアを継続しています。

\*1)埋立量:直接埋立される廃棄物量  
\*2)リサイクル率:埋立,単純焼却以外の廃棄物量/廃棄物の総量

## ● 廃棄物の有効利用(西川ゴム単体)



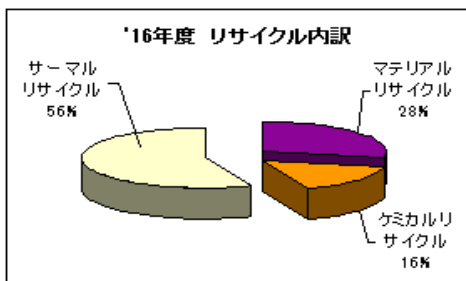
工程内ゴム廃材を炭化させたものとアスファルトを組み合わせることにより、丈夫で安価な排水性アスファルト混合物を作っています。



※ 乾留技術の詳細については、  
[http://www.nishikawa-rbr.co.jp/technology\\_recycle.php](http://www.nishikawa-rbr.co.jp/technology_recycle.php)  
※ 炭化物をアスファルトへ添加する技術の詳細については、  
[http://www.nishikawa-rbr.co.jp/technology\\_asphalt.php](http://www.nishikawa-rbr.co.jp/technology_asphalt.php)  
をご参照ください。

## ● リサイクルの内容について(西川ゴム単体)

当社のリサイクルの内訳は、28%がマテリアルリサイクル、16%がケミカルリサイクル、そして残りの56%がサーマルリサイクルです。



### 【マテリアルリサイクル】

ゴムの廃材を利用したゴム板を作成し、一部の自動車のガソリタンク緩衝材や住宅の防音床や、人工芝用資材として、又ポリエチレンシートの端材をエアコンのドレンホースの材料として再生されています。



### 【ケミカルリサイクル】

ゴム廃材を連続乾留し、生成された芯金と炭化物をそれぞれ売却しています。

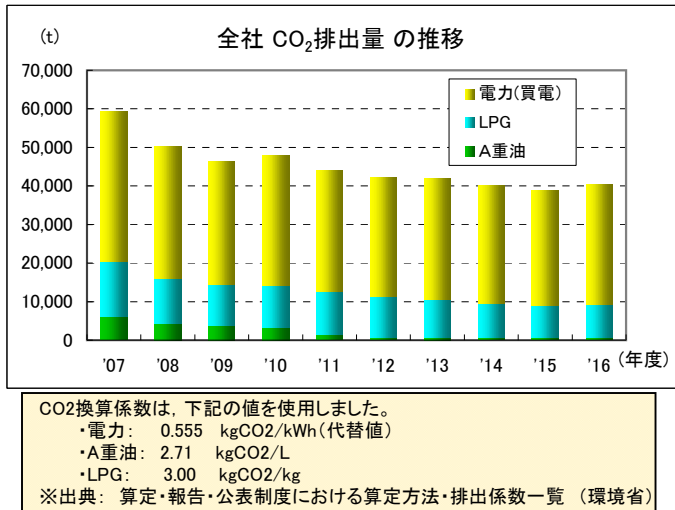
### 【サーマルリサイクル】

セメント会社の原燃料として利用されています。また、RPF(Refuse Paper & Plastic Fuelの略称で固形燃料)の原料の一部となり、多くは製紙会社の燃料として利用されています。



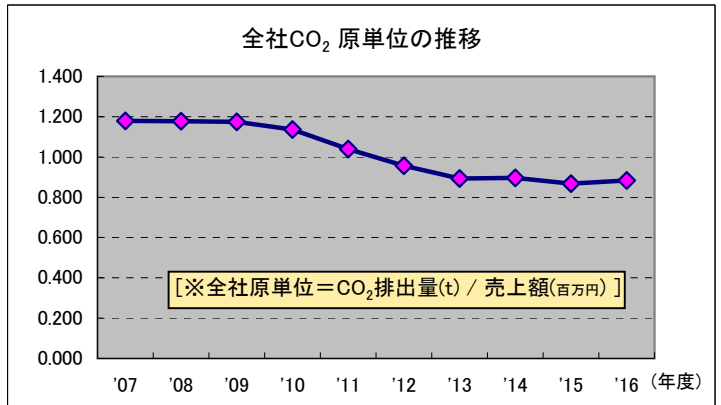
# CO<sub>2</sub>排出量削減の取組み

## ● CO<sub>2</sub>排出量の推移（西川ゴム単体）



## ● CO<sub>2</sub>原単位の推移（西川ゴム単体）

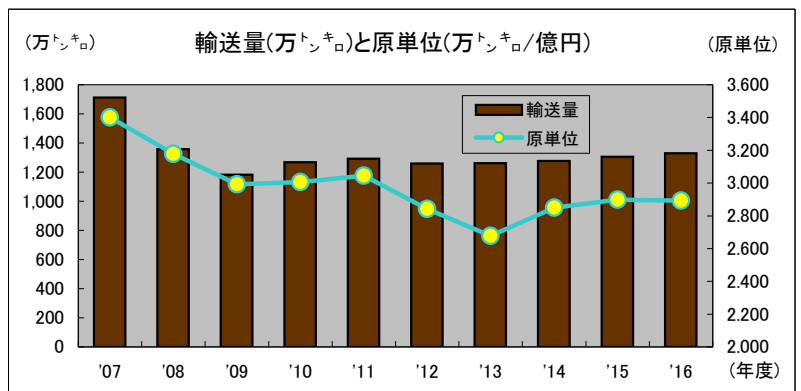
CO<sub>2</sub>排出量削減, 原単位改善に向けて, 生産拠点及び本社等の非生産拠点それぞれに, 原単位目標を設定して取り組んでいます。



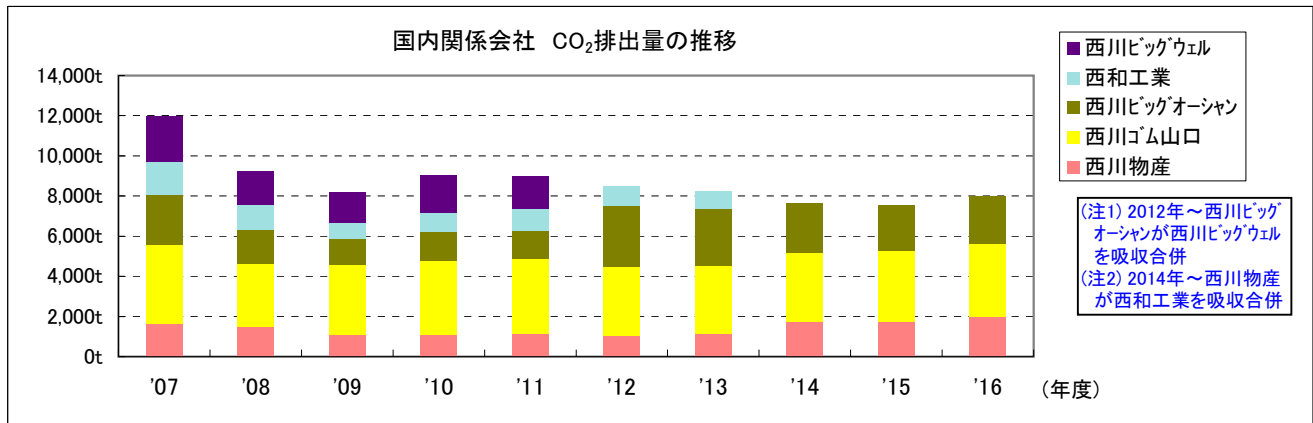
## ● 物流改善（西川ゴム単体）

当社の2016年度の輸送量は, 2015年度に比べ, 微増の1,329万トンキロとなりました。売上額で割った原単位は, 2015年度に比べわずかながら良くなっています。

今後も荷姿の改善による積載効率の向上, 直行化直帰化によるデポ・工場間輸送の削減を継続的に行い, 原単位削減を推進してまいります。



## ● 国内グループ会社のCO<sub>2</sub>排出量推移



グループ各社も, 2008年度より当社と歩調を合わせた省エネ活動を実施しています。

しかしながら, 2016年度のCO<sub>2</sub>排出量は, 仕事量のUPにともない若干の増加となりました。

CO<sub>2</sub>換算係数は、下記の値を使用しました。

- 電力: 0.555 kgCO<sub>2</sub>/kWh(代替値)
- A重油: 2.71 kgCO<sub>2</sub>/L
- LPG: 3.00 kgCO<sub>2</sub>/kg

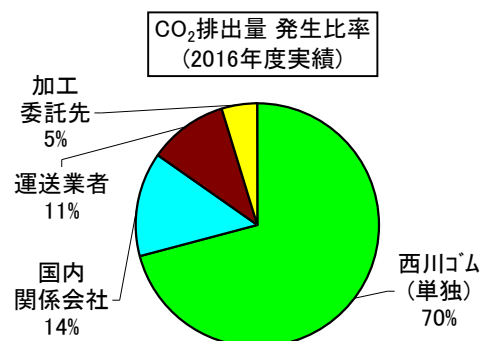
出典: 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 (環境省)

## ● ライフサイクル管理の推進（西川ゴム単体）

当社は, 製品の生産～(加工委託先を含む)～運送業者(燃料使用量)におけるCO<sub>2</sub>排出量実績管理を2016年度から開始しました。

当社の関係するCO<sub>2</sub>排出量のうち, 運送(使用燃料)や加工委託先におけるエネルギー消費が16%ものウェイトを占めている実態がわかりました。

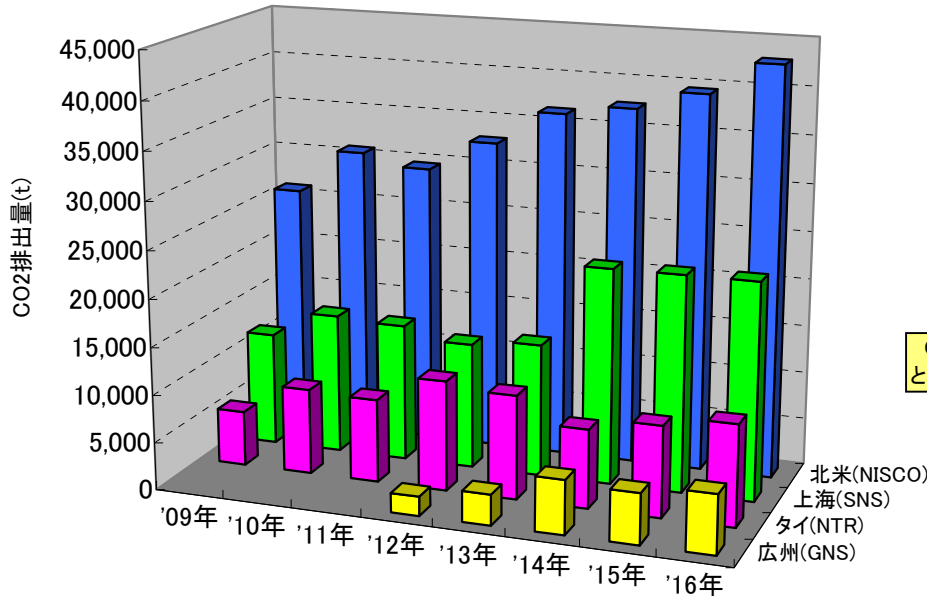
今後は, それらの領域の省エネ活動推進を計画していきます。



# 主要海外グループ会社 環境実績

## ● 主要 海外グループ会社のCO<sub>2</sub>排出量と原単位の推移

主要海外グループ会社 CO<sub>2</sub>排出量推移



＜主要 海外グループ会社の名称＞  
 NISCO: NISHIKAWA COOPER LLC (アメリカ)  
 NTR: Nishikawa Tachaplalert Cooper Ltd. (タイ)  
 SNS: 上海西川密封件有限公司 (中国-上海)  
 GNS: 広州西川密封件有限公司 (中国-広州)

(注1) 現段階で安定的生産により、排出量把握が可能な拠点(4拠点)のデータ推移  
 (注2) 海外グループ会社の決算月による年間データ  
 (注3) 広州(GNS)は、2012年～生産対応を開始

CO<sub>2</sub>換算係数は、各国の設定係数をベースとした値によるもので算出されております。

海外のグループ会社におけるCO<sub>2</sub>排出量推移は、生産量の拡大により現時点では増加傾向にあります。

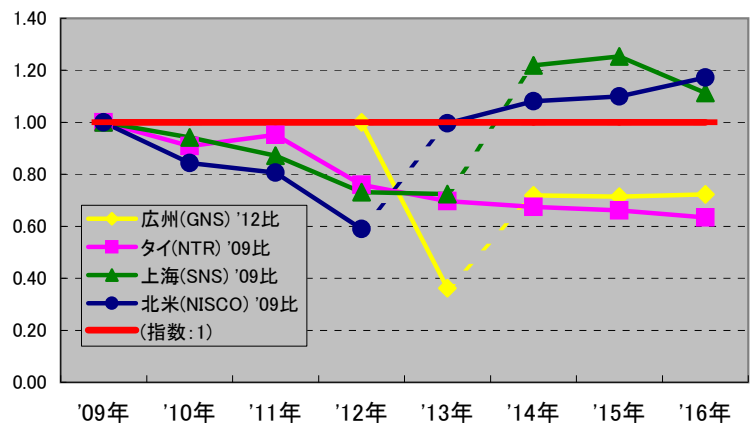
原単位としては、北米で'13年に生産に関わる量の見直しを行ったことで増加。上海/広州では、'14年にCO<sub>2</sub>排出係数の見直しを行い、排出量及び原単位が増加となっています。

今後とも、生産性の改善をすすめ原単位改善を推進していきます。

＜各拠点原単位算出ベース＞

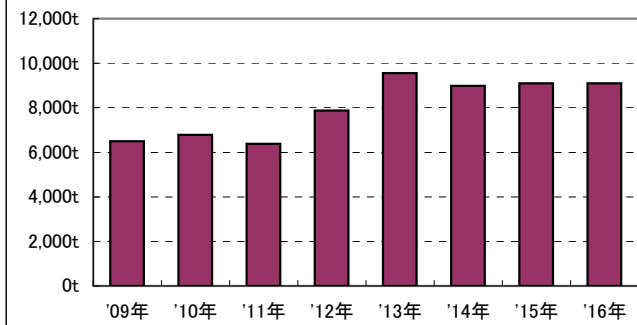
広州(GNS)	(CO <sub>2</sub> t/万元)
タイ(NTR)	(CO <sub>2</sub> t/M baht)
上海(SNS)	(CO <sub>2</sub> t/万元)
北米(NISCO)	(CO <sub>2</sub> t/生産千t)

主要海外グループ会社 原単位(指数)推移



## ● 主要 海外グループ会社の総廃棄物量とリサイクル率

主要海外グループ会社 総廃棄物量の推移

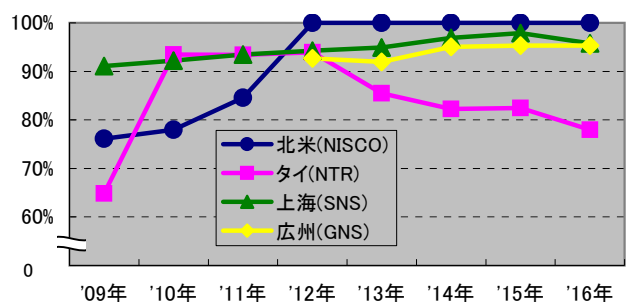


海外グループ会社でも、廃棄物のリサイクル率の向上を目標として取り組んでいます。

100%リサイクルを達成した会社も出てきています。

＜主要 海外グループ会社の名称＞  
 NISCO: NISHIKAWA COOPER LLC (アメリカ)  
 NTR: Nishikawa Tachaplalert Cooper Ltd. (タイ)  
 SNS: 上海西川密封件有限公司 (中国-上海)  
 GNS: 広州西川密封件有限公司 (中国-広州)

主要海外グループ会社 廃棄物リサイクル率の推移

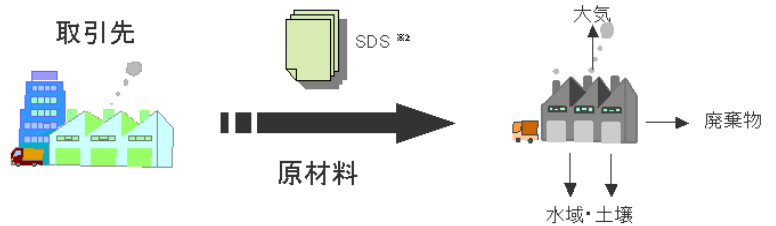


# 環境負荷物質の排出状況と水使用量

## ● PRTR物質の削減

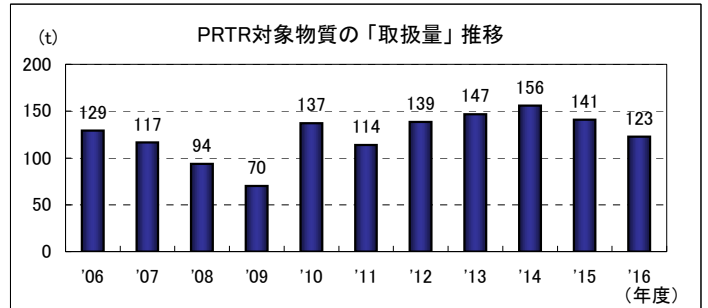
1999年に制定されたPRTR※1法(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律)に指定された特定化学物質については、排出量を算出しております。  
これら化学物質の使用量の削減対策は、製品設計の見直し、改善により取り組んでいます。

- ※1 PRTR : Pollutant Release and Transfer Registerの略  
環境汚染物質排出・移動登録制度
- ※2 SDS : Safety Data Sheetの略  
化学物質の性状及び取り扱いに関する情報を記載した化学物質安全性データシート

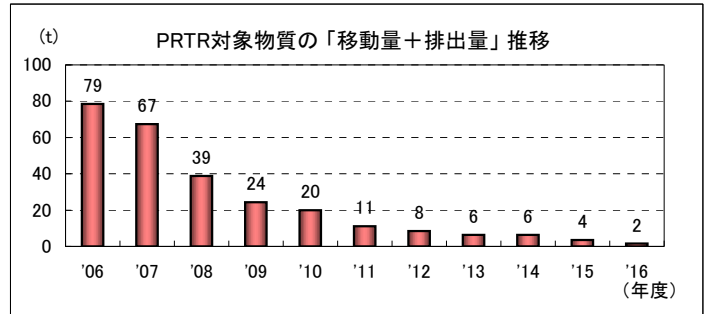


## ● 2016年度環境負荷物質の移動量・排出量の状況 (2016.4~2017.3)

政令番号	CAS No	指定化学物質	移動量				排出量		
			廃棄物	大気	水質	土壌	大気	水質	土壌
42	96-45-7	2-イミダゾリジンチオン	1.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
268	137-26-8	テトラメチルチウラムジスルフィド	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
372	95-31-8	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウムクロリドN-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミン	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
452	149-30-4	2-メルカプトベンゾチアゾール	0.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
438	1321-94-4	メチルナフタレン	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計			1.61	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

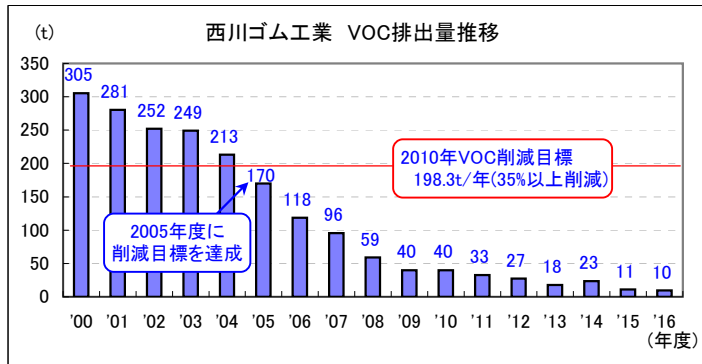


継続的な削減活動を進めた結果、2016年度は、“トルエン”“フタル酸ジ-2-エチルヘキシル”の移動量/排出量は報告義務の無いレベルになり、対象物質の移動量+排出量の総量は前年の半減以下となりました。



## ● 揮発性有機化合物(VOC\*)の排出量削減

当社は、日本ゴム工業会のVOC排出量の削減自主規制計画に賛同し、VOC削減活動を実施しています。



(注記) 2007年度より使用を開始したシンナーについて、含有する「その他の炭化水素類」が集計から漏れていたため、数値の修正を行いました。

※ VOC: Volatile Organic Compounds (揮発性有機化合物)

VOC 17物質  
アセトン、イソプロピルアルコール、キシレン、酢酸ブチル、酢酸エチル、シクロヘキサン、シクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、トリクロロエタン、トルエン、n-ヘキサン、メチルアルコール、メチルイソブチルケトン、メチルエチルケトン、ゴム揮発油、その他の炭化水素(炭素、水素のみで構成されるもの)

◎ 日本ゴム工業会のVOC排出削減に関する自主行動計画における削減目標

- ・2008年までに25%以上削減(2000年度ベース)
- ・2010年までに35%以上削減(2000年度ベース)
- ・2011年以降も当面の目標は35%以上削減(2000年度ベース)を継続する

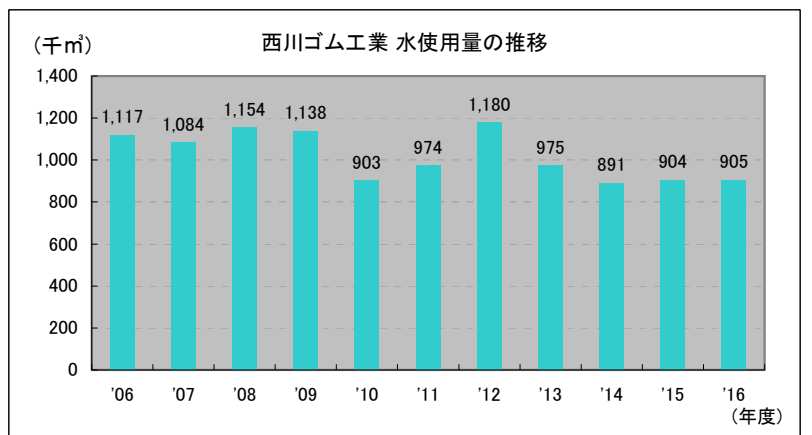
<年間1t以上の日本ゴム工業会が定めた代表VOC17物質で集計>

VOC排出量については、早い時期から有機溶剤塗料の水性塗料への切替えを行ってきた結果、日本ゴム工業会の自主目標(2000年度比35%削減)を2005年度には前倒しで達成しました。

また、自動車工業会の進める車室内VOC低減活動のために、VOC含有素材使用制限活動を展開しています。その結果、2016年度のVOC排出量実績は、前年度より12.7%削減の9.6tとなりました。今後もVOC排出量の低減を進めていきます。

## ● 当社の水使用実績の推移

当社の生産活動における水使用の主な目的は、設備や製品関係の冷却です。  
排水の水質監視とともに、使用量の異常の発生を監視しています。





# 2016年度の環境パフォーマンスまとめ (西川ゴム単体)



## 《算出方法等》

インプット	原材料	購入した原材料・配合薬品類の量
	エネルギー投入量	工場・事業所における電力、油、ガスの消費量
	PRTR対象物質	工場・事業所におけるPRTR法の対象とされる化学物質
アウトプット	大気への排出	CO <sub>2</sub> : 工場・事業所におけるエネルギー消費にともなうCO <sub>2</sub> 排出量 (エネルギー消費量 × CO <sub>2</sub> 換算係数) NO <sub>x</sub> , SO <sub>x</sub> : 工場・事業所の排気口(ボイラー等)から排出される 排ガス中の物質濃度を測定した結果に基づき算出
	廃棄物の排出	対象の年度に工場・事業所において埋立処分、単純焼却、リサイクルされた量
	排水量	水資源投入量と同じ値(蒸発量は測定できないため、無視しています)

# 環境コンプライアンス

## ● 緊急事態対応訓練

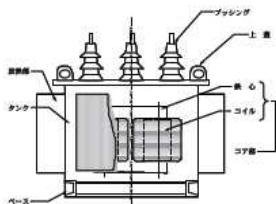
当社では、緊急事態を想定した訓練を実施しています。右の写真は、安佐工場での重油が漏洩した場合を想定した訓練の一例です。



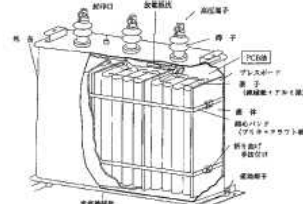
## ● (特別管理産業廃棄物) ポリ塩化ビフェニル(PCB)含有機器の管理



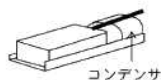
高圧トランスの例



高圧コンデンサの例



コンデンサを内蔵する安定器の例

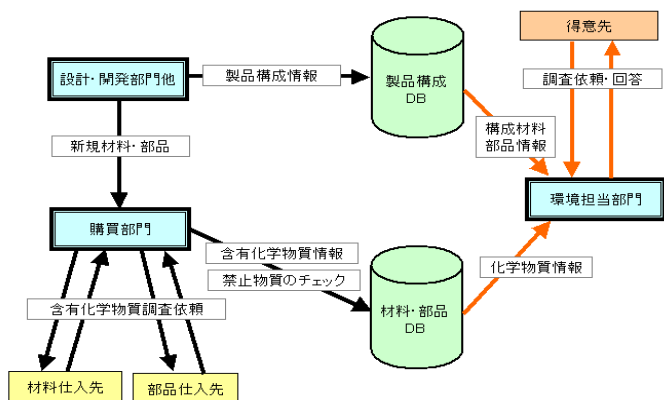


昨年(2016)度、当社の対象保管中の機器(トランス9台+コンデンサ3台)の法律にもとづいた処置(搬出～処分)を実施しました。

2017年度以降、使用中の機器(低濃度)を中心に、計画的な入替え対応を行い、順次適正処分を実施していく予定です。



## ● 環境関連法規制に基づく環境負荷物質(SOC※1)管理システムの構築



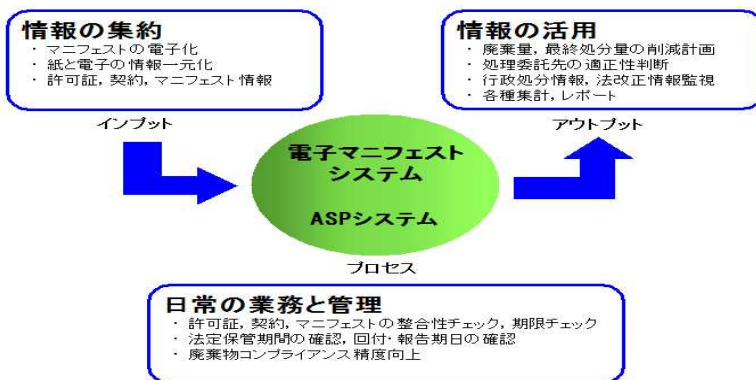
[西川ゴム工業の製品含有化学物質管理のフロー]

欧州のELV指令※2, RoHS指令※3, REACH規則※4, 法規制やお客様からの要求をふまえ、弊社では使用を規制する環境負荷物質(SOC※1)リスト[NSE0001;環境負荷物質の管理規定]を制定し、右のような体制を構築して、SOCの管理・低減をグローバルで取り組んでいます。

- ※1 : SOC (Substances Of Concern)
- ※2 : ELV (End of Life Vehicles) 指令
- ※3 : RoHS (Restriction of Hazardous Substances) 指令
- ※4 : REACH (Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals) 規則

## ● 廃棄物管理 電子システムの導入

昨年度より国内Gr各社へ導入した産業廃棄物処理状況の一元管理を目的とした“電子マニフェスト”システムを活用し、引き続きコンプライアンス違反のリスク低減と、業務コストの改善を継続推進しております。



# 地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (国内生産拠点)

## ● 安佐工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

### 《久地小学校校庭清掃》

2016年9月16日 就業後久地小学校校庭の清掃を行いました。



### 《吉山川清掃》

2016年5月29日 広島大学生物研の学生18名と教授が太田川の支流である吉山川の河川清掃と生物研究をされる事になり、バスの駐車場やトイレの提供とともに、清掃作業のお手伝いを実施しました。



## ● 白木工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

### 《工場周辺のクリーンウォーク》

2016年4月23日 今年は天候に恵まれ、例年に増して多数の方々に参加頂き、白木工場周辺と白木街道沿いや上三田駅周辺の清掃を行いました。



### 《白木中学校 インターンシップの受入れ》

2016/5/10～5/12の3日間 白木中学校よりのインターンシップの受入れを行いました。

大卒新入社員と一緒に実習を行いました。1日中立ち仕事の経験が無く、2日目・3日目は「太ももが痛い」と訴えながらの作業になりました。



## ● 吉田工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

### 《工場周辺清掃》

2016年7月1日 工場周辺の一斉清掃を実施しました。  
合わせて、敷地周辺の雑木・雑草の除去、整地を行いました。



### 《地域でのお祭りへの参加》

2016年7月16日 実習生にも協力いただき、毎年恒例の地元のお祭り”一心祭り”へ参加させていただきました。



## ● 三原工場 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

### 《『エヒメアヤメ』自生地の下草刈作業参加》



2017年2月17日 毎年恒例となっている、地元保存会・町内会・小中学校・工業団地企業等による、国の天然記念物「エヒメアヤメ」の保存を目的とした下草刈に協力しました。



### 《工業団地内の清掃活動》

2016年11月15日 小原工業団地協議会主催による清掃活動に参加をしました。



### 《広島赤十字血液センター来車による献血協力》

2016年12月13日 400ml/1人の献血で13名の方が協力をしていただきました。



# 地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (国内関係会社)

## ● 西川物産 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

### 《会社周辺定期清掃》

西川物産では、毎月 第2月曜日を「周辺清掃の日」として定期的な清掃活動を行っております。



## ● 西川ゴム山口 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

### 《やまぐち移植医療推進財団運営支援型自動販売機の設置》

自販機の売上金の一部が「やまぐち移植医療推進財団」の活動資金として活かされています。



### 《下関北ライオンズクラブ献血》

2016年度で、15名の参加実績を有しています。



### 《地域の清掃活動》

2016年6月21日 工場団地内の一斉清掃を行いました。



# 地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (海外関係会社)

## ● NISCO 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

＜海外グループ会社の名称＞  
 NISCO: NISHIKAWA COOPER LLC(アメリカ)  
 NTR: Nishikawa Tachaplalert Cooper Ltd.(タイ)

＜＜“Indiana Environmental Stewardship Program”への登録＞＞

NISCOでは, “Indiana Environmental Stewardship Program”へ参画(参加企業として登録)し, 汚染防止や廃棄物削減の活動を進めています。



＜＜“United Way”に参加＞＞

“United Way”は, 地域の団体と一緒に地域問題を解決するために資金や人材を活用します。



＜＜保存食の地域への寄付＞＞

“Hunger in America”保存食を集め地域の食料庫へ寄付しています。



＜＜“Toys for Tots”米国海軍主催＞＞

NISCOでは恵まれない子供達へのクリスマスプレゼントや寄付を募ります。



＜＜“Arc Opportunities”アーク・オポチュニティーズ”＞＞

NISCO本社が所在するラグランジ郡と隣接するノーブル郡へ, 知的発達・発育障害を持った方々へのお仕事を提供しています。



## ● NTR 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

＜＜地域貢献活動＞＞ 工場の周りの掃除を行いました。(29-Dec-2017)

Cleaning rein gutter out side



Collect garbage in the factory.



# 地域貢献活動, 環境保護活動, コミュニケーション (海外関係会社)

## ● SNS・GNS 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

### 《クリーンウォーク》

(SNS)工場の周辺の掃除を5月, 10月の2回行いました。



### 《消防中隊への慰問》

(SNS)2016年7月 松江区永豊街道の消防中隊へ, 酷暑での作業に敬意を表し慰問を行いました。



＜海外グループ会社の名称＞

SNS: 上海西川密封件有限公司(中国-上海)

GNS: 広州西川密封件有限公司(中国-広州)

NSM: NISHIKAWA SEALING SYSTEMS MEXICO S.A. de C.V.(メキシコ)

(GNS)2016年5月29日 公益活動時, 工場周辺の掃除を行いました。



## ● NSM 地域貢献, 環境保護, コミュニケーション

### 《地域貢献活動》

地域 老人施設への衣類等の寄付を行いました。



レオン市(17名)



グアナファト市(13名)





作成日 : 2017年 7月28日

発行元 : 西川ゴム工業 株式会社  
品質保証本部 環境安全部

連絡先 : TEL 082-237-9330(直通)  
FAX 082-238-3983(同上)